

平成 29 年 5 月 25 日
学校法人 大乘淑徳学園

平成 28 年度の資金運用結果について

平成 28 年度は、原油価格の底打ちも手伝い、世界経済は概ね堅調に推移しました。秋に行われた米国大統領選挙はトランプ勝利という予想外の結果となりましたが、この結果を受けて米国株式市場はプラスに反応し、ダウは史上最高値を更新し長期金利も上昇しました。

これを受け、国内の長期金利も秋以降上昇し、プラス圏に浮上したものの、日銀のマイナス金利政策のもと、一年を通して 0% 付近の低金利が続きました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、平成 28 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に平成 28 年度の資金運用結果について簡単にご報告いたします。

1 預金（期末残高 152 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなかから、利率面で有利なところへ見直しを行いました。低金利状態が継続するなか昨年を上回る結果となりました。

運用益は 36,471 千円（利回り約 0.24%）となりました。

2 公債（期末残高 0 円）

公債については、新規に購入した債券はなく、これまで保有した地方債で運用を行いましたが、残りの 1 銘柄 2 億円が満期償還を迎え、期末残高は 0 円となりました。

運用益は 243 千円（利回り約 0.12%）となりました。

3 社債（期末残高 35 億円）

社債については、長期にわたって運用が予想される 2 銘柄 10 億円を購入しました。

運用益は 23,199 千円（利回り約 0.66%）となりました。

4 金融債（期末残高 約 15 億円）

金融債については、大手金融機関の債券 1 銘柄 5 億円を新規購入し、1 銘柄 5 億円が早期償還となりました。

運用益は 11,762 千円（利回り約 0.78%）となりました。

5 その他（期末残高 約 52 億円）

低金利のなか安全で一定のクーポン収入が期待できるクレジットリンク債 3 銘柄 16 億円を新規に購入しました。

運用益は 33,720 千円（利回り約 0.65%）となりました。

以 上